

ダウンロード

Cogny サーバ	http://www.v2p.jp/download/server.zip
Cogny クライアント	http://www.v2p.jp/download/client.zip
PostgreSQL	http://www.postgresql.org/
日本 PostgreSQL ユーザ会	http://www.postgresql.jp/
形態素解析システム茶筌	http://chasen.naist.jp/hiki/ChaSen/
xdoc2txt - PDF,WORD,EXCEL,一太郎などの各種バイナリ文書からテキストを抽出	http://www31.ocn.ne.jp/~h_ishida/xdoc2txt.html

インストールと起動

【サーバ】

- (1) PostgreSQL の D B を用意する。
 D B には Cogny のソースに付属の cogny_db.sql を入力する。
 PostgreSQL は TCP 接続できる設定にて起動する。
- (2) ServerServices.ds があることを確認する。
- (3) Cogny サーバを起動する。
 server.cmd を実行する。(Windows)
 server.sh を実行する。(Linux)

【クライアント】

J a v a のソースの一部を環境に合わせて変更する必要がある。
 CognyWindowCommitThread.java の extractKeywords メソッドで xdoc2txt.exe と chasen.exe のパスを直に指定しているため、これを環境に合わせて変更する。

- (1) リポジトリディレクトリの作成
 コンテンツを格納するためのディレクトリ (例えば %cogny_repository) を作成する。
 Cogny クライアントを実行するディレクトリのサブディレクトリがよい。
- (2) HTTP サーバを立ち上げる。
 Cogny のソースに付属の client.cmd を参考に java で CognyWindow を実行する。

 パラメータの意味は以下のとおり。

 java CognyWindow (ユーザ名) (パスワード) (クライアント I D)
- (3) ClientServices.ds があることを確認する。
- (4) Cogny クライアントを起動する。
 client.cmd を実行する。(Windows)
 client.sh を実行する。(Linux)

使 い 方

- (1)文書の公開 Cogny¥cogny_repository に転送したいファイルをコピーする。
テキスト、Word、PDF に対応。

クライアントのウィンドウで Shared タブをクリックし、Refresh ボタンを押す。

ファイルの一覧が表示されたら Commit ボタンを押す。これで形態素解析が行なわれ、インデックスが更新される。

- (2)文書の検索

別のクライアントのウィンドウで Search タブをクリックし、検索キーワードを入力して Search ボタンを押す。

検索結果に表示されたらダブルクリックすると文書が転送される。

注意) 何回もやっていると動作がおかしくなることがありますので、初期状態に戻してください。

例えばリポジトリディレクトリが Cogny¥cogny_repository の場合、

Cogny¥cogny_repository 以下のファイル

Cogny¥cogny_repository.dat

を削除する。

D B データの削除。

```
psql cogny
```

で PostgreSQL に接続し、

```
delete from keywords;
```

```
delete from contents;
```

を実行する